

(2) 歳出 (別表 5, 9 参照)

イ. 概要

平成 27 年度一般会計の歳出決算額は 208 億 1,598 万 5 千円で、予算現額 218 億 4,507 万 8 千円に対し、95.3%の執行率である。

翌年度繰越額は 4 億 3,401 万 5 千円で、そのすべてが繰越明許費繰越額となっている。したがって、予算執行残額から翌年度繰越額を差し引いた不用額が 5 億 9,507 万 8 千円となっている。

決算額のうち前年度に比べて増加した主なものは、教育費 10 億 7,280 万 5 千円 (47.7%)、土木費 4 億 2,512 万 3 千円 (30.5%)、総務費 3 億 2,194 万 6 千円 (17.1%) であり、減少した主なものは、公債費 1 億 7,237 万 3 千円 (9.6%)、労働費 1,142 万 8 千円 (5.9%) である。

概ね予算に即した執行がされていたことを認めた。決算額を性質別に区分すると次のとおりである。

性 質 別 決 算 額 比 較 表

区 分 性 質 別		平成 27 年度		平成 26 年度		対前年度 増減額
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	
		千円	%	千円	%	千円
消 費 的 経 費	人 件 費	2,640,179	12.7	2,674,214	14.5	△ 34,035
	物 件 費	2,350,550	11.3	2,266,119	12.2	84,431
	維持補修費	259,051	1.3	235,035	1.3	24,016
	扶 助 費	3,298,616	15.9	3,171,714	17.1	126,902
	補助費等	5,059,374	24.3	4,635,188	25.0	424,186
	小 計	13,607,770	65.5	12,982,270	70.1	625,500
投 資 的 経 費	普通建設事業費	3,646,421	17.5	2,137,753	11.6	1,508,668
	災害復旧事業費	6,743	0.0	4,673	0.0	2,070
	小 計	3,653,164	17.5	2,142,426	11.6	1,510,738
公 債 費		1,629,631	7.8	1,802,004	9.7	△ 172,373
積 立 金		255,008	1.2	152,183	0.8	102,825
貸 付 金		310,000	1.5	299,000	1.6	11,000
繰 出 金		1,360,412	6.5	1,135,709	6.2	224,703
合 計		20,815,985	100.0	18,513,592	100.0	2,302,393

消費的経費は後年度に形を残さない性質の経費である。投資的経費はその支出の効果が資本形成に向けられるもので、施設等ストックとして将来に残るものに対して支出される経費である。

歳出科目は 14 款に区分されており、その構成及び予算の執行状況は次のとおりである。

ロ. 議会費

議 会 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
175,234,000	173,122,396	0	2,111,604	98.8	0.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億7,641万3千円に比較すると329万円（1.9%）の減少である。

ハ. 総務費

総 務 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,467,338,000	2,201,416,443	200,737,000	65,184,557	89.2	10.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額18億7,947万1千円に比較すると3億2,194万6千円（17.1%）の増加である。

これは主に電算処理費が3,171万2千円（26.3%）、衆議院議員選挙費が1,897万5千円（皆減）、災害対策費が1,073万8千円（55.8%）、それぞれ減少したものの、財産管理費が1億77万5千円（86.7%）、市民会館管理費が9,517万8千円（158.6%）、一般管理費が8,066万7千円（8.6%）、企画費が4,223万円（26.0%）、それぞれ増加したためである。

また、不用額6,518万5千円は、主に戸籍基本住民台帳費で個人番号カードの交付数が国の当初見込みを大きく下回ったため負担金、補助及び交付金1,095万7千円、企画費で北条鉄道経常損失補てん予定額と同決算額とに差額が生じた等のため負担金、補助及び交付金1,076万1千円、一般管理費でふるさと納税包括業務委託料の予測が困難等のため委託料277万7千円、財産管理費で緊急修繕等が不用になったため需用費208万4千円、市民会館管理費で緊急修繕が発生しなかったため需用費200万円が不用になったものである。

なお、翌年度繰越額2億73万7千円は、企画費、電算処理費、選挙費の繰越によるものである。

人口増施策として、種々の補助、減免措置等が実施されているが、費用対効果の観点からも、各々の施策の必要性を十分に精査し、今後の継続実施や新たな施策の導入に努められたい。

また、播磨国風土記1300年記念事業は、数年にわたり多額の資金を投入しており、有効性を十分に検証しておく必要がある。なお、今後も、加西市の文化的水準の向上や、市の活性化を図らなければならないが、継続して類似の事業を実施する場合、費用対効果の観点から、事業の評価を慎重かつ厳格に行うことが求められる。

二. 民生費

民 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
6,524,326,000	6,147,427,698	203,553,000	173,345,302	94.2	29.5

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額60億3,280万4千円に比較すると1億1,462万3千円(1.9%)の増加である。

これは主に、児童福祉施設費が1億4,531万9千円(22.8%)、児童福祉総務費が1億2,626万1千円(45.0%)、老人福祉費が4,840万4千円(25.1%)、それぞれ減少したものの、社会福祉総務費が2億4,247万1千円(17.7%)、障害者福祉費が1億1,308万7千円(14.0%)、児童措置費が6,015万2千円(4.8%)、それぞれ増加したためである。

また、不用額1億7,334万5千円は、主に社会福祉総務費で国民健康保険給付費及び後期高齢者医療給付費、介護給付費の減等により特別会計への繰出金が減になったことにより繰出金4,327万9千円、生活保護費で入院等に係る医療扶助受給者が見込みを下回った等により扶助費3,880万6千円、福祉医療費で医療費助成の減等による扶助費2,988万3千円が不用になったものである。

なお、翌年度繰越額2億355万3千円は、社会福祉総務費、児童福祉費の繰越である。

ホ. 衛生費

衛 生 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
2,532,796,000	2,503,821,224	0	28,974,776	98.9	12.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額23億2,598万2千円に比較すると1億7,784万円(7.6%)の増加である。

これは主に、生活排水対策費が8,517万6千円(16.0%)火葬場費が1,870万9千円(44.1%)、環境保全対策費が744万2千円(31.2%)、それぞれ減少したものの、し尿処理費が2億5,765万円(141.5%)、塵芥処理費が1,631万7千円(4.8%)、それぞれ増加したためである。

また、不用額2,897万5千円は、主に予防費で予防接種件数が見込みを下回ったため委託料307万2千円、し尿処理費で改修整備工事の焼却設備廃止による薬剤量及び電気使用量の減により需用費306万2千円、火葬場費の火葬件数が見込みより少なく燃料費が下回ったため需用費119万2千円が不用になったものである。

へ. 労働費

労働費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
184,199,000	182,000,536	0	2,198,464	98.8	0.9

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億9,342万8千円に比較すると1,142万8千円(5.9%)減少している。これは、労働諸費が減少したためである。

ト. 農林水産業費

農林水産業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,220,481,000	1,195,083,957	0	25,397,043	97.9	5.7

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額11億2,218万4千円に比較すると7,290万円(6.5%)の増加である。

これは主に、国営かんがい排水関連事業費が1億449万4千円(68.2%)、農業総務費が1,059万3千円(6.9%)、それぞれ減少したものの、農地費が1億455万8千円(42.9%)、農業振興費が6,515万3千円(40.4%)、地域農政推進対策事業費が4,103万1千円(756.5%)、それぞれ増加したためである。

また、不用額2,539万7千円は、主に農業振興費で農地集積協力金の国の配分の減等により負担金、補助金及び交付金が996万2千円、農地費で県営ため池等整備事業費が平成26年度予算へと前倒しになったことにより負担金、補助及び交付金340万6千円、農業振興費で有害鳥獣遺骸処理費の減による委託料175万3千円が不用になったものである。

チ. 商工費

商工費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
647,623,000	632,978,353	0	14,644,647	97.7	3.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額4億5,039万8千円に比較すると1億8,258万1千円(40.5%)の増加である。

これは主に、商工振興費が1億5,429万8千円(39.8%)、観光費が3,479万5千円(139.0%)増加したためである。

また、不用額1,464万5千円は、主に商工振興費で空き店舗活用補助金にかかる申請者の減等により負担金、補助及び交付金746万2千円、観光費で空き家の所有・購入者への改修建築費

用の助成事業の申請者の等により負担金、補助及び交付金 2 2 1 万 2 千円が不用になったものである。

リ. 土木費

土 木 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
1,869,022,000	1,820,615,671	29,725,000	18,681,329	97.4	8.7

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 1 3 億 9, 5 4 9 万 3 千円に比較すると 4 億 2, 5 1 2 万 3 千円 (30.5%) の増加である。

これは主に、宅地造成対策費が 2, 2 9 3 万 4 千円 (皆減)、都市下水費が 5 0 0 万円 (0.8%)、住宅管理費が 3 8 2 万 1 千円 (10.0%)、公園費が 1 8 7 万円 (9.0%)、それぞれ減少したものの、道路新設改良費が 3 億 4 1 4 万 9 千円 (156.8%)、土地区画整理費が 2, 6 6 8 万円 (96.1%)、都市再生事業費が 2, 4 4 3 万円 (皆増)、それぞれ増加したためである。

また、不用額 1, 8 6 8 万 1 千円は、道路新設改良費で鶴野飛行場線道路改良事業の用地測量・実施設計が実施できなかったこと等による委託料 6 5 2 万 7 千円、土地区画整理費で測量業務の減による負担金、補助及び交付金 2 0 0 万円、都市計画総務費で境界確定に時間を要したことによる工事請負費 1 3 1 万円が不用になったものである。

なお、翌年度繰越額 2, 9 7 2 万 5 千円は、道路新設改良費の繰越である。

ヌ. 消防費

消 防 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
745,122,000	744,213,528	0	908,472	99.9	3.6

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 7 億 2, 7 4 4 万 2 千円に比較すると 1, 6 7 7 万 2 千円 (2.3%) の増加である。

これは主に、非常備消防費が 1 4 8 万円 (1.7%) 減少したものの、消防施設費が 9 3 9 万 3 千円 (253.1%)、常備消防費が 8 8 6 万円 (1.4%) 増加したためである。

ル. 教育費

教 育 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
3,569,345,000	3,323,923,496	0	245,421,504	93.1	16.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 2 億 5, 1 1 1 万 8 千円に比較すると 1 億 7, 2 8 0 万 5 千円 (47. 7%) の増加である。

これは主に、中学校費の学校管理費が 2 億 9 8 1 万 1 千円 (62. 9%)、公民館費が 9 6 1 万 6 千円 (13. 4%)、文化財保護費が 8 5 0 万 3 千円 (85. 6%)、青少年女性教育費が 5 4 0 万 3 千円 (皆減)、それぞれ減少したものの、小学校費の学校管理費 (以下「学校管理費 (小)」という。) が 1 2 億 2, 6 4 7 万 1 千円 (182. 8%)、幼稚園費が 1, 7 9 3 万 8 千円 (10. 5%)、小学校費の教育振興費が 1, 0 2 6 万 5 千円 (33. 4%)、それぞれ増加したためである。

不用額 2 億 4, 5 4 2 万 2 千円は、主に学校管理費 (小) で入札残により工事請負費 2 億 9 9 4 万 3 千円、オークタウン管理費でテニスコート人工芝改修工事費が入札残により 3 1 0 万 8 千円が不用になったものである。

フ. 災害復旧費

災 害 復 旧 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円 7,100,000	円 6,742,560	円 0	円 357,440	% 95.0	% 0.0

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度の支出済額 4 6 7 万 3 千円に比較すると、2 0 6 万 9 千円 (44. 3%) 増加している。

これは、農業施設災害復旧費が 2 0 6 万 9 千円 (44. 3%) 増加したためである。

フ. 公債費

公 債 費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円 1,630,100,000	円 1,629,631,062	円 0	円 468,938	% 100.0	% 7.8

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額 1 8 億 2 0 0 万 4 千円に比較すると 1 億 7, 2 3 7 万 3 千円 (9. 6%) の減少である。

支出済額のほとんどが市債償還元金と利子である。

一般会計の前年度末における未償還元金は 1 7 2 億 3, 7 6 6 万 7 千円であり、これに当年度借入金額 2 9 億 8, 3 0 0 万円を加え、この合計額から当年度元金償還額 1 4 億 5, 4 9 9 万 2 千円を差し引いた額 1 8 7 億 6, 5 6 7 万 5 千円が当年度末未償還元金である。

カ. 諸支出金

諸 支 出 金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	対決算総額比
円	円	円	円	%	%
255,013,000	255,008,490	0	4,510	100.0	1.2

本款の執行状況は上表のとおりで、前年度支出済額1億5,218万3千円に比較すると1億282万5千円(67.6%)の増加である。

支出の主なものは、ふるさと応援基金費2億1,117万2千円、財政調整基金費3,316万4千円である。

コ. 予備費

予 備 費

議決予算額	充用額	不用額	充当率
円	円	円	%
20,000,000	2,621,000	17,379,000	13.1

当年度における予備費の充用件数は4件で、1,737万9千円が不用額となっている。